

TEEP

進化型実務家教員
養成プログラム

VOL.48

NEWS LETTER

TOPICS

進化型実務家教員の枠組みから 自身のキャリアを構築する



名古屋産業大学 現代ビジネス学部
准教授 松林 康博 先生

私はマーケティング、ベンチャービジネス、人的資源管理、PBL、長期のインターンシップ、キャリア科目等を担当しています。このニュースレター(vol27)の掲載から3年半ほど経ち、今年度は外部の非常勤含め280回近く授業をこなし、企業、行政、学校教員、他大学等からの依頼も増えました。学生が長期インターンシップで、新規事業の芽の構築、企業の組織開発への貢献、受賞する等の成果を出しているのもあってだと思います。

実務家教員は何か社会に貢献できる強みを有するから、登用されたはずで、現在進行形の企業・行政・地域の課題への貢献をすると、そこから、講義に登壇するゲスト、PBLで扱うテーマ、インターンシップの受入企業の確保等の実践的な授業の構築、それが学生の学習意欲向上にも役立ちます。その手法は、企業にも需要があり、外部の依頼増加に派生する好循環を生み出しています。学生が未熟な存在だからこそ、私自身の人材育成、企業戦略手法を実務家時代よりも言語化・体系化を促進し、研究の種を作る機会となっています。

進化型実務家教員として掲げられる社会貢献、教育、研究、学内業務の四要素につながりを作ることで、自身の成長を促進できる有効な枠組みだと感じています。

教員メッセージ



次の世代を育てる

社会で学んだことを次の世代に伝えることは、人生の先輩が担う大切な役割の1つだと思います。社会で積んだ経験を大学生に伝え、次の世代を育てることで、日本を再び豊かな国に、そして世界中の人々から尊敬される国にしてみませんか。大学で教えるための第一歩が、進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)です。TEEPでは、社会経験を積んだ多くの先輩方が仕事の合間を縫って学んでいます。コース修了後も学び続け、博士前期課程や後期課程で研鑽を積んでいる方もおられます。

大学の教員の仕事は、研究と教育が好きな人にとって、とてもやりがいのある仕事です。

まずはTEEPから始めてみましょう。

(人間文化研究科 准教授 杉浦克哉)

TEEP \NOW/

みなさん、こんにちは！

2024年度も残すところ1か月となりました。後期に専門コースを受講された9名のうち7名は修了され、1年コースの2名は継続受講されます。

今年度のコミュニティ交流会は、実務研究をテーマに挙げ、その意義と役割について学びます。高知工科大学より那須先生をお招きし、「実務家教員だからこそできる研究」について、博士後期課程進学希望者に対し、公開研究指導を実施していただきます。実務に根差した研究方法論について参加者も一緒に学びます。



TEEPの学びを活かし、2023年3月、岐阜県白川町、名古屋市立大学経済学部、そして弊社（CCNet株式会社）の事業持ち株会社であるコミュニティネットワークセンター株式会社は、産官学連携協定を締結し、TEEPの担当教授としてお世話になった鶴飼先生のご指導のもと、白川町の「独居老人の見守り」「地域産業の活性化」「関係人口づくり」といった喫緊の地域課題に対し、学生、行政職員、企業社員が一体となり、15回の講義とフィールドワークを通じて、具体的な解決策を模索する共同講座を開講しました。

特に、「独居老人の見守り」に関しては、白川町とCCNet（株）が、その後も検討を進め、テレビと通信機器を活用した新たな見守りサービス「CCNet見守りプランしらかわ」として、2024年11月より、ふるさと納税を活用し、地域住民の安心安全に貢献

する新たなビジネスモデルとして提供を開始しました。この取り組みは、日経新聞でも取り上げられています。

2年目となる2024年度は、「SNSを活用した関係人口づくり」をテーマに、白川町の魅力を全国へ発信し、移住や観光を促進するための取り組みを展開しています。

本取り組みを通じて、学生は地域課題解決の実感と職業人としての実践的な提言力を養い、行政職員と企業社員は学術的な知見を得るとともに、新たな視点やスキルを習得することができました。また、白川町においては、住民の生活の質向上と地域経済の活性化に貢献することができると確信しています。

今後は、CNCIグループ全体へこの取り組みを広げ、各地域の特性に合わせた課題解決を支援していきたいと考えています。

CCNet株式会社 奥村 与幸

★論文投稿のご案内★

◆グローバルビジネス学会

グローバルビジネス学会賞（GBJ賞）募集のお知らせ

グローバルビジネス学会では、会員による優秀な著書および論文に対し、その業績を広く顕彰することを目的として「GBJ賞」を設けております。応募期間は、3月3日（金）～3月31日（金）、自薦・推薦のどちらでも応募可能です。詳しくは下記をご参照ください。

【参考URL】

<https://s-gb.net/2023/03/06/gbj2023/>

◆地域活性学会

「地域活性研究」投稿のお知らせ

「地域活性研究」は、地域活性に関する理論的・実証的研究の成果を広く内外に発信していくために地域活性学会が刊行する学術雑誌です。本論文集は、地域課題の理論的・実証的解明と地域活性の理論・手法の構築をもって、地域活性に寄与することを目的とします。発行回数は原則として年2回の発刊（3月、10月発行）

【参考URL】

<https://www.chiiki-kassei.com/pb/cont/sale/244>



お知らせ

TEEPでは、2025年度基本コースに10名、専門コースに5名の受講生をお迎えすることになりました。多様なバックグラウンドを持つ受講生が刺激しあいながら学びます。また、2025年度よりカリキュラムをリニューアルした中京大学のスポーツマネジメントコースにも新たに受講生が誕生します。各コースの詳細は以下のWebサイトでご確認ください。

<https://teep-consortium.jp/>

公募情報

ピックアップ

- 新潟大学（新潟県）
産学横断教育（キャリア教育）担当
特任教員（特任教授又は特任准教授）の公募
- グロービス経営大学院（東京都）
実務家教員 契約社員（ファカルティ職）